

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 発電所の状況について（2026年4月3日現在）

1号機 沸騰水型	廃止措置中（2017年4月19日～） ・建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事（2024年10月1日～ 2026年3月27日）
2号機 加圧水型 (116万kW)	第18回定期検査中（2011年8月29日～未定） 新規規制基準適合性確認の申請に向けた取り組み ・追加調査実施中（2025年9月16日～） 【別紙】

（ ）内は定格電気出力

<新規規制基準への適合性審査に係る申請状況>

	申請	申請日	補正日	許認可日
2号機	保安規定変更認可	2015.11.5	—	—

2. 故障等の状況について（2026年3月3日～2026年4月3日）

- (1) 法律に基づく報告事象
なし
- (2) 安全協定に基づく異常時報告事象
なし
- (3) 保全品質情報等
なし

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について（2026年4月3日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

- (1) 敦賀発電所1号機 クリアランス対象物に係る放射能濃度の測定及び評価方法の認可について
 当社は、敦賀発電所1号機の運転・保守、廃止措置に伴い発生するクリアランス対象物に係る放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請書を原子力規制委員会に提出後、審査基準及び規則の制定を踏まえ、クリアランス対象物の変更及び測定・評

価方法の変更、およびこれまでの審査等を踏まえて記載内容の一部を適正化した補正書を原子力規制委員会に提出しました。

(2016年9月13日、2025年9月26日、2026年2月18日お知らせ済み)

上記申請について、2026年3月10日付で、原子力規制委員会から認可をいただきました。

(3月11日お知らせ済み)

(2) 敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について

敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物を日本原燃株式会社の低レベル放射性廃棄物埋設センター（青森県六ヶ所村）へ輸送するため、3月19日に低レベル放射性廃棄物専用の運搬船「青栄丸」が敦賀発電所へ入港しました。その後、専用コンテナ180個の積込みを完了し、3月25日に出港しました。

(3月18日お知らせ済み)

(3) 敦賀総合研修センター2026年度公開研修コースのご案内について

敦賀総合研修センターでは、2026年度の公開研修コースを受講される方を募集しています。

公開研修コースは、国内外の技術者や学生などさまざまな方を対象に、原子力に係る広範囲な知識の習得と技能の向上を図ることを目的として、30項目のコースを開催しています。

詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。

(https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/course_2026.html)



◀こちらから敦賀総合研修センター公開研修コースご案内のホームページをご覧ください。

(4) げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間 9:30～16:30】

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用いただいています>

① 令和7年度「青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージ」図画・ポスターの部の入賞作品展

青少年健全育成敦賀市民会議（会長：原 幸雄 様）主催の図画・ポスターの入賞作品展です。「明るく楽しい家庭や学校生活」「住みよい町づくり」等をテーマに敦賀市の小中学生や、一般の方から募集した中から、入賞作品を45点展示予定です。

(4月7日～4月12日(最終日は15:30まで))

② 井加田 博 絵画展 鉛筆画によるタブロー

当ギャラリーでは9回目の井加田 博 様による作品展です。鉛筆等による人物、ネコ、ウマ、花が描かれた絵画を中心に、作品を20点展示予定です。

(4月14日～4月19日)

以上

敦賀発電所2号機 新規規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査

現在、現地における追加調査を行っています。掲載している写真は「その他の破砕帯等」の調査を目的とした作業の一つとして、調査坑の掘削にあたり立坑の掘削作業を行っているものです。引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。

項目	調査目的	調査位置・概要	実施状況
1	K断層の分布と性状	(1) K断層が屈曲している箇所における岩盤までの掘削や、D-1トレンチの地下深部までのボーリング調査を行う。	現地調査中
2	K断層の活動性	(2) ・ D-1トレンチの北西法面のボーリング等による地質の詳細調査を行う。 ・ ふげん道路ピットの上載層から採取したブロックの内部構造をCTで確認する。	現地調査中
3	K断層の連続性	(3-1) ふげん道路ピットを岩盤まで掘削し、K断層が南方に連続していないことを直接確認する。	現地調査中
		(3-2) ふげん道路ピットから敦賀発電所2号機原子炉建屋側への延長部において、調査坑によるK断層の追跡調査を行う。	(3-1)の調査後に対応
4	その他の破砕帯等	(4) 原子炉建屋周辺の地質、破砕帯の性状、原子炉建屋直下の破砕帯の活動性、その他の破砕帯の分布、活動性等について、ボーリング調査、調査坑による調査を行う。	現地調査中

<追加調査概要>

立坑掘削イメージ図

立坑

約30m

約200m

約3m

約10m

調査坑

D-1トレンチ南方での調査

D-1トレンチ

浦底断層

調査坑

立坑

約200m

2号機

(3-2) K断層の連続性調査 (原子炉建屋側への追跡調査)

(4) 原子炉建屋周辺の地質、破砕帯の活動性等 (調査坑による岩盤中での面的な調査)

補足: 本図のK断層は標高-15mにて推定される位置を示したもの

立坑内部の観察(地上より撮影)

立坑内部の観察(内部より撮影)

【その他の破砕帯等】調査坑の掘削

- ・地下約30mに調査坑を掘削するため、資機材の搬入・土砂搬出に必要な立坑を掘削しています。
- ・併せて、掘削により現れた地盤を観察しています。